



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2007年（平成19年）

4月5日号 No. 1393

目次

■ロシアにおける現地法人・事務所設立のノウハウ	1
■トピックス	6
フジノンが中央アジアで内視鏡を拡販／6	
■エトセトラ	6
ニジェゴロド州投資環境プレゼンテーション開催のご案内／6	
『ロシア技術ニュースレター』2006年度No.6の発行／7	
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定	7
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	

ロシアにおける現地法人・事務所設立のノウハウ

はじめに

現在、モスクワを中心に日本企業の事務所設立が続いている。モスクワの日本商工会の会員数は2003年時点の60社台から、2005年春には100社を超え、現時点で153社に達した。今後も設立のラッシュは続くと思われるが、実際に事務所設立に携わった方々からは、その際に求められるロシア語による膨大な書類の提出や、中身よりも形式が重視される傾向から手続きに非常に時間がかかるといった苦労話も聞かれる。また、当会にも事務所設立に関する問い合わせが寄せられている。

そこで当会は3月14日、ロシア連邦商工会議所（CCI）の代表団の来日を機に、ロシア市場進出に関心を持っている、またロシアに駐在員事務所、現地法人等の設立を検討している日本企業の方々を対象にプレゼンテーションを開催した。同プレゼンテーションでは、CCI外国企業認証局のデニセンコフ局長およびゴリチコワ主任から、事務所設立に関する現行システム、同会議所による外国企業へのサービス等について具体的な説明がなされたが、その要旨は当会HPに掲載している（<http://www.rotobo.or.jp/activities/tprfreports.pdf>）ので、そちらを参照していただきたい。今号ではCCIのサポートを受けてモスクワに現地法人および駐在員事務所を設立したスガハラアソシエーツの菅原信夫代表取締役の講演内容、ならびに参加者から寄せられた質問に対する回答を紹介する。